

第2回小中学校プールのあり方検討会議記録

日 時：2023年9月20日（水）午後6時から7時05分

場 所：市役所3階305会議室

出席者：別紙名簿 梅本豊丘小学校長、傍聴1人

教育長あいさつ：

- ・アンケートについては小さい意見も大切にしなければならないと思っている。
- ・安全確保のため、水泳が見直されてきている。

内 容：

座長は新井東中学校校長に決まった。

1. 豊丘小学校水泳授業の様子について

〈梅本校長より報告〉

- ・別紙感想文を使って説明
- ・2時限続きの体育としたため、疲れが出た児童もいた。家庭からは熱中症ではないかとも言われた。
- ・プールの和式トイレに困った低学年児もいた。

〈中村学校教育課長よりインストラクターの感想を紹介〉

2. アンケートの集計結果について

〈中村学校教育課長より説明〉

委員：豊丘小1年生の上達が早くて驚いた。インストラクターの価値はあると思った。

委員：プールの時間が少ないと感じる保護者が多いが、限られた時間の中で泳力を上げられるかは、指導者の力が大きいと感じた。

梅本：インストラクターがいない授業の指導力も向上したと感じる。

委員：全ての学年でインストラクターを入れるのが難しいのであれば、小学1年、3年、5年で導入するのも有効と思う。小学校は2学年毎のまとまりで指導要領が作られている。

委員：雨の日は何故水泳授業が出来ないのか。

梅本：雨によって体温が奪われ、体が冷えてしまうから。

委員：高甫小学校の保護者の中に、「豊丘小学校の水泳授業を高甫小で行うことに、どちらかといえば問題ある」と回答した方が3人いるのが気になる。

中村：3人とも理由を書いていないのでハッキリとはわからないが、豊丘小の授業が入ることで高甫小の授業が減ってしまうと誤解して選んだのかもしれない。その辺をしっかりと説明していく必要はある。

教育長：高甫小に確認した方がいい。

⇒後日確認したところ、おそらく高甫小児童の水泳授業への影響を心配して、「どちらかといえ

ば問題ある」を選んだのではないか、とのことだった。

委員：長電スイミングを使うとお金がかかるのか。

委員：中野の前任校のプールも老朽化で使えなくなり、1年目は他校のプールを使った。2年目からは中野駅前の長電スイミングの屋内プールを使っている。学校プールの改修費用と長電スイミングの使用料を比較検討した結果を中野市教委が保護者に説明した。インストラクターの指導力も高く、教員もプールの管理業務から解放され、学校としては有難かった。

委員：豊丘小では高甫小に行くことに否定的な意見は聞こえていない。

委員：高甫小でも特に意見は聞こえてこない。

委員：学校プールも使える施設は有効に使うべき。ただ、何回かはインストラクターによる指導をお願いしたい。可能であれば合同授業にしてインストラクターを入れることもいいのではないか。今回は折角インストラクターが来ているのだから、高甫小側も指導してもらえば良かったと思う。

教育長：モデルケースとして長電スイミングの屋内プールを使った授業を考えたい。今年度から一歩進んだ形にするべきだと思う。

委員：2時限連続の授業について、6月はまだ涼しいので屋外でも大丈夫だと思うが、7月の暑い時期は屋内プールの方が子ども達の負担が小さい。

指導主事：豊丘小の児童も高甫小の児童も、今年の水泳授業は楽しかったと答えているが、「楽しい」の内容は少し違うかもしれない。豊丘小学校の児童は、授業の度に水泳が上達していくのが分かって楽しいと感じている子が多いのではないか。

3. 次回の内容と日程について

〈中村学校教育課長より説明〉

⇒次回は11月20日(月)午後6時から

内容は提言案について